

令和6年度第1回御殿場市地域公共交通協議会議事概要

令和6年7月25日開催 14時30分～15時10分

御殿場市林業会館第1研修室

※委員13名出席（全17名）

1 開会（全体進行：御殿場市都市整備課長）

2 挨拶（御殿場市都市建設部長）

本日はご出席いただきありがとうございます。本協議会は交通事業者・市民関係団体の方々に構成させた協議会。人口減少や高齢化が進む社会を見据えて持続可能な交通体系の確立等を目的として本市の交通施策を協議する役を担っている。

この協議会では数々の施策を行ってきた。『年3回路線バスに乗ろう』をキャッチフレーズに利用促進運動を実施、高齢者を中心としたバス・タクシーの利用助成券の配布等、多くの事業を行いながら市民ニーズの把握に努めた。

本年4月からライドシェアという新たな交通手段が運用されており、県内では静岡市で運用開始した。当市においても、国の動向等を注視しながら慎重に対応していこうと考えている。

このようなことから将来を見据え今後も継続した取り組みが必要となるため、皆様にはご協力をお願いしたい。本日はどうぞよろしく。

3 委員紹介

4 地域公共交通の現状について……資料1-1、1-2、1-3

（説明：事務局）

加藤委員：電車の話が出たが、第4種踏切が市内に何件あるのか。最近こういった踏切で幼児の事故が発生している。我々、障害者や高齢者も事故にあう可能性がある。もしあるのであれば、何らかの対策をお願いしたい。

事務局：竈の県道沼津小山線沿いに1件ある。事務局から担当課に対策をしてほしいというご意見があったことをお伝えします。

5 協議事項

（1）役員の選出について……資料2

仮議長として御殿場市都市建設部長が進行を行った。

（説明：事務局）

資料2 第5条第2項により役員は互選により選出する旨説明を行った。

高村委員：事務局一任でどうか。

鈴木仮議長：ただいま、事務局一任とご意見いただいたがどうか。

事務局にて下記の役員案を提示した。

会 長（市都市建設部長 鈴木 信義氏）

副会長（市区長会代表 茱萸沢下区長 立道 正夫氏）

監 事（市老人クラブ連合会会長 田代 武満氏）

異議なしとして、事務局案にて役員を選出した。

（以下、第6条により会長が議長となり進行）

（2）令和5年度事業報告・決算報告について……資料3

（説明：事務局）

資料3に基づき、事業報告・決算報告・監査報告を行った。

（質疑等）

いずれも異議なしとして原案どおり承認された。

（3）令和6年度事業計画（案）・収支予算（案）について……資料4

（説明：事務局）

資料4に基づき、事業計画（案）・収支予算（案）について説明を行った。

いずれも異議なしとして原案どおり承認された。

6 報告事項

（1）地域公共交通計画の更新について

（説明：事務局）

（2）ハッピーライドin静岡プロジェクトについて……資料5

（説明：静岡県地域交通課）

7 その他

志村委員：静岡県様から運転手不足の話がありましたので、当社の現状を伝えさせていただきます。当社も運転手不足が慢性的に発生している。今年の2月に1つの打開策として乗務員の効率運用を図るために、グループ会社の富士急湘南バスを吸収合併した。それから昨年の4月に乗務員の賃上げ、10月に運賃改定、今年の4月に再度乗務員の賃上げを行った。乗務員の募集も有料広告等で実施しているが、なかなか思うように採用ができていないのが現状。具体的な数字で言うと、本社が定員40名中35名。湘南営業所が定員40名中36名。合計71名で約1割不足しているが、以前と比べると改善されているような状況。

今後は、継続して有料広告等で募集はしていくが、国内のドライバーには限

りがあるということで、富士急グループで派遣業を行っている富士急ビジネスサポートを窓口に、外国人ドライバーの採用も取り組んでいる。まだまだハードルは高いが、数年後には1、2名程度は外国人ドライバーを採用せざるを得ない状況になってくると考えられる。まずは、国内のドライバーの採用を強化して乗務員を確保していく予定です。

市内の路線バスについては、弊社も可能な限り維持存続をしていくつもりだが、厳しい状況になると減便・廃線を視野に入れざるをえないということも可能性としてある。今まで以上に継続して路線バスの維持確保に努めていきたいと考えているので、よろしく。

8 閉会